



正しい防護具の着脱について



令和4年6月3日

感染管理室 高村 弘美

若松 一生



PPEの目的

個人防護具（Personal Protective Equipment：PPE）

血液や体液で汚染される可能性のある場合、医療従事者の			
手を守る	鼻腔・口腔粘膜を守る	皮膚や衣服の汚染を 最小限にする	眼粘膜を守る
無菌的処置を実施する際、医療従事者の			
手指に保菌 している菌に	鼻腔・口腔粘膜に 保菌している菌に	衣服に付着している 菌や埃などに	眼に付着している 菌や埃などに
患者や物品が曝露されるのを防ぐ			



一般的なPPE例



マスク



アイガード



手袋



エプロン



ガウン



特殊な環境で使用するPPE



N95 マスク



フェイスシールド



キャップ



シューズカバー



サージカルマスク

着け方

point

鼻と口、あごまで
きちんと覆う!



1 ノーズピース部分に
折り目をつける



2 ゴムヒモを耳にかける。針金を顔の形に合わせる



3 4 捻腰をあごの下まで
伸ばし鼻と口を覆う

外し方



1 表面に触れないように
ゴムヒモを外す



2 表面に触れないように
ゴムヒモを持って捨てる

point

- マスクの表面に触れないように外して、捨てる!
- マスクを外した後手指衛生を行う
- 衛生的に使用するため、適時交換する



サラヤ株式会社



マスクの素材別飛沫透過率

	マスクなし	ウレタン	布	不織布 (ルーズ)	不織布 (フィット)
吐き出し	100%	48%	28%	24%	18%
吸い込み	100%	82%	70%	45%	25%

令和3年6月23日理科学研究所ウィルス飛沫感染の予測に関する記者勉強会資料

- ポリウレタンマスクは鼻や口から出る飛沫を抑える効果も、吸い込むのを防ぐ効果も低い
- 不織布であっても、装着がルーズだと効果がない。
- 布マスクよりは不織布マスクが勧められるが、肌荒れなど不織布マスクが使えない場合は、布マスクの間に不織布シートを挟んだり、布マスクの上から不織布マスクを着用する。



プリーツ型マスクの正しい着け方

マスクには表裏があります



プリーツが下を向いている

(一部例外もあり)



マスクの着け方の工夫

マスクがフィットしない場合は、下記のような工夫が紹介されています。



WHO 資料



手袋

プラスチック製手袋



- 繊細な作業を必要としない
- 手荒れしない

ニトリル製手袋



- プラスチック手袋で手荒れする
- 繊細な作業を必要とする。

手袋は、種類によりコストも大きく違うため、適切に使用しましょう。(ニトリル手袋はプラスチック手袋の約3倍)



アイガード



ICグラス I



ICグラス II



セーフティアイウェア



フェイスシールドロングタイプ



サージカルマスクバイザー付



マスクにくっつくアイガード



ミーガード

「マスクにくっつくアイガード」や「ミーガード」など上部が解放されているタイプは、日常ケアにおける直線的な飛沫・液体の暴露防護には有効ですが、エアロゾル発生時には感染リスクが高くなります。



N95マスク



- N95マスク「N」とは、「Not to resistant to oil」という意味
- 「95」とは $0.3\mu\text{m}$ 以上の塩化ナトリウム (NaCl) 結晶の捕集効率が95%以上という意味



N95マスク フィットテスト



ユーザーシール チェック	定性的フィットテスト	定量的フィットテスト
装着毎に必ず実施	関連部署の職員に1回/年実施（9月）	



N95 マスク着用方法



1 マスクをパッケージから取り出し、上下を確認する。図のようにノーズクリップを指のほうにして、ゴムバンドが下になれるように、カップ状に持ちます。



2 ノーズクリップを上にしてマスクが顎を包むようにかぶせます。



3 マスクをしっかり押さえながら上側のゴムバンドを頭頂部につけます。



4 次に、下ゴムバンドを頭頂部を経て、首の後ろにまわし、マスクの位置を調整します。



5 両手の指でノーズクリップが鼻に密着するように軽く押し、鼻の形に合わせます。



装着毎に必ず実施します

6 【ユーザーシールチェック】
両手でマスクを覆い、空気の漏れをチェックして密着の良い位置にマスクを合わせます。



N95 マスク取り外し方



1 マスク表面には触らないようにして、マスクの首の後ろのゴムバンドを外します。



2 次に頭頂部のゴムバンドを外します。



3 マスクを顔から外し、各施設の規定に従い廃棄または保管してください。



エプロンの着け方



エプロンを首にかける

腰ひもを広げる

腰ひもを後ろで結ぶ

エプロンの外し方



首ひもを引っ張って切る



汚染面が内側になるように

下から腰の辺りまでたたむ



エプロンを小さくまとめて

前方に引き、腰ひもを切る



必ず実施



ガウンの着け方



袖を通す



襟ひもを結ぶ



腰ひもを後ろで結ぶ

ガウンの外し方



襟ひもをほどく



腰ひもをほどく



袖の内側から袖を引く



汚染面で前腕部をつかむ



腕を内側に抜く



中表になるようまとめる



外側に触れないよう廃棄



手袋の着け方



手袋の手首の部分をつかんで着用



反対の手も同様に着用

手袋の外し方



片方の手袋の袖口表面をつかむ



手袋を表裏逆になるように外す



手袋を外した手を反対の
手袋の袖口に差し込む



手袋を表裏逆になるように外す



必ず実施



複数のPPEをつける順番



基本は手指衛生です

ガウン → N95 マスク → ゴーグル → フェイスシールド → キャップ → 手袋

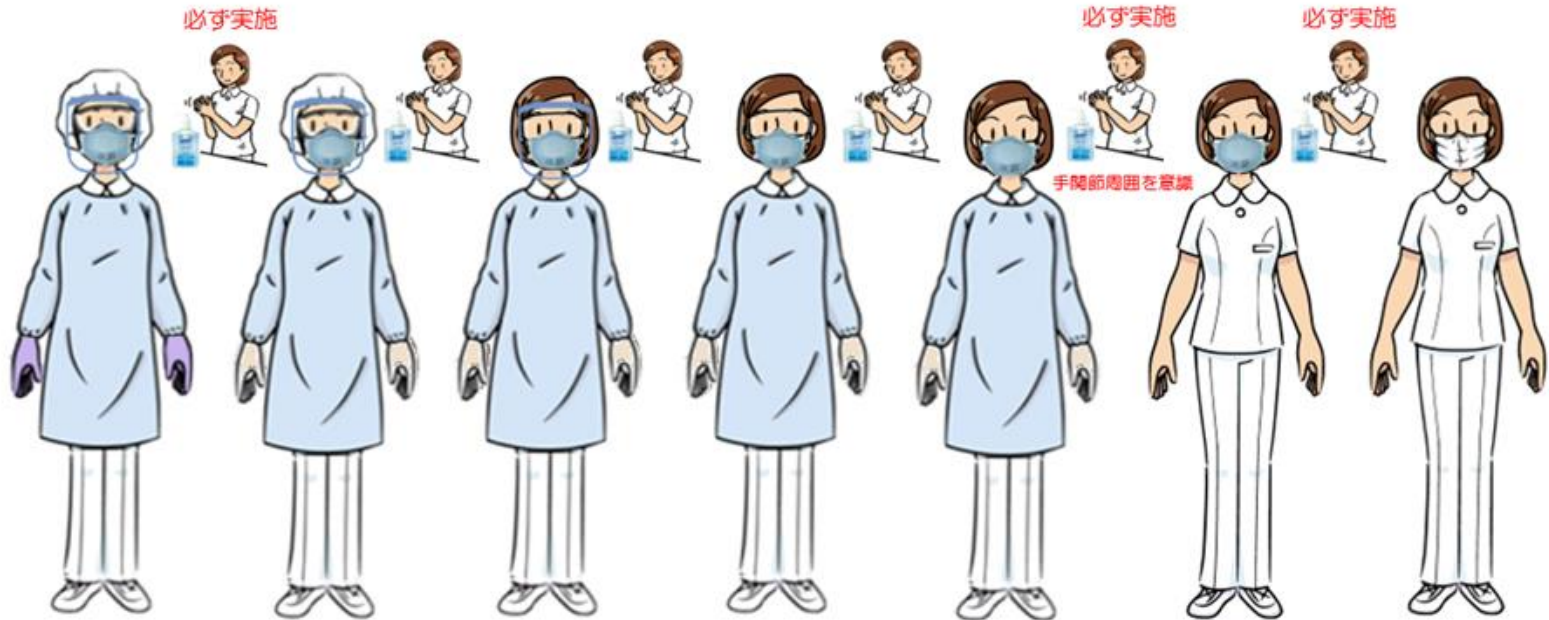


複数のPPEを外す順番



基本は手指衛生です

手袋 → キャップ → フェイスシールド → ゴーグル → ガウン → N95 マスク → マスク



衛生的な手洗い方法



1 流水で手を濡らす



2 石けんを手のひらに適量取る



3 石けんを泡立て、手のひらをよく洗う



4 手の甲を伸ばすように洗う



5 指の間を洗う



6 指先・爪の間を洗う



7 親指、付け根を洗う



8 手首を洗う



9 流水で洗い流す



10 ペーパータオル等で水分を拭き取る

手を完全に乾かす



洗い残しの多いところ



正しい手指消毒方法



1 薬剤を手のひらに取る



2 両方の手のひらにまんべんなく塗り広げる



3 片方の手のひらの上で、もう一方の指先や爪の間に塗り込む



4 手の甲に塗り広げる



5 指の間は両手を組んで塗り広げる



6 親指、特に付け根も忘れずに塗り広げる



7 両手首までしっかりと塗り広げる



速乾性手指消毒剤

ゴージョー MHS



ピュレル アルフリ

(アルコールフリー)





ご清聴ありがとうございました

